

# 神戸大学医学部附属病院薬剤部

## ●基本情報

- ① 病床数 本院：934床（一般病床888、精神病床46）  
分院（国際がん医療・研究センター、ICCRC）：60床
- ② 薬剤師数（2023年4月1日現在）：83名（ICCRC含む）  
内訳：教員 5名、常勤薬剤師 73名（ICCRC 4名）、薬剤師レジデント 4名、神戸薬科大学薬剤師レジデント 1名

## ●薬剤部の特徴や魅力について

### 患者中心のチーム医療を実践する

- ・薬剤師業務を地道に行う
- ・業務の効率化と新規業務の開発
- ・安全性と経済性のバランス感覚を養う

### 10年後の医療を牽引する薬剤師を育成する

- ・薬学部卒前教育への貢献
- ・初期レジデント制度の充実
- ・認定・専門薬剤師及び学位取得の支援

### 明日の薬物治療に変化をもたらす

- ・薬剤業務の科学的評価
- ・計画的な学会発表
- ・研究成果の論文文化

### 兵庫県の医療に貢献する

- ・認定施設として研修生の積極的受入れ
- ・地域での勉強会や活動の推進
- ・人材確保と人材交流

## 神戸大学医学部附属病院薬剤部のミッションと行動指針

薬剤部では上記のミッションと行動指針に基づき日々業務に邁進しておりますが、特に力を入れているのは以下です。

### ① 教育体制

薬剤師レジデント制度や部内スキルアップセミナーの拡充など、新人教育や研修体制を整備しています。新人教育では、薬剤師としての知識・技能を効率的に身に付けてもらうための教育ツール「KOBE-PRS」を導入しています。また、各種認定・専門薬剤師及び学位の取得を支援しています。各領域の専門家から手厚い指導を受けることができ、医療を牽引する薬剤師になるためのしっかりとした土台と考え方を形成することができます。

### ② 業務改善

薬剤部では常に業務効率化と新規業務開発に取り組んでいます。効率的で安全な薬剤業務の実践のために、内服薬・注射薬調剤ロボットや抗がん薬調製ロボットの導入、システム制御による検査情報を含めた処方監査、薬剤照合システムなど、機械やITシステム、非薬剤師の活用を行っています。そして病棟薬剤業務や薬剤管理指導業務などの対人業務、薬剤師の新たな職能を発揮するための新規業務の開発に注力しています。

### ③ 研究活動

中央業務や病棟活動で見つけたクリニカルクエスションについて、教員や専門薬剤師の指導のもとで研究活動を行い、その成果を学会や論文等で積極的に発表し、日本の薬剤師業務に変化をもたらすための学術活動に尽力しています。

## ●見学会・採用情報について

[2023年度見学会について（対象：2025年4月採用予定者）]

日程と時間：2024年2月13日（火）および3月8日（金）、各日14時より

場 所：神戸大学医学部附属病院薬剤部

[2025年4月採用について]

試験日程：2024年4月13日（土）

採用人数：特定薬剤師レジデント（任期付き常勤）：2-3名、特定薬剤師（任期付き常勤）：若干名

※詳細は薬剤部HP（<https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/yakuzai/>）をご参照ください。

## ●近隣病院の採用情報案内

兵庫県病院薬剤師会の薬剤師求人情報のHP（<https://hyogo-byoyaku.org/employment/>）をご参照ください。

## ●連絡先

〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-2 神戸大学医学部附属病院薬剤部（担当：大村）

TEL：078-382-6641

E-mail：omurat@med.kobe-u.ac.jp